

## 第 5 回グローバル COE 国際シンポジウム

### The 5th International Sport Sciences Symposium on “Active Life”

中田大貴、宮下政司、曹振波、宮本直和、柴田愛、時澤健、内田雄介

Hiroki Nakata, Masashi Miyashita, Zhen-Bo Cao, Naokazu Miyamoto,

Ai Shibata, Ken Tokizawa, Yusuke Uchida

早稲田大学スポーツ科学学術院

Faculty of Sport Sciences, Waseda University

スポーツ科学研究, 8, 184-187, 2011年, 受付日:2011年9月6日, 受理日:2011年9月6日

2011 年 8 月 8 日(月)、早稲田大学所沢キャンパス 101 号館にて、早稲田大学グローバル COE 国際シンポジウム「The 5th International Sport Sciences Symposium on “Active Life”」を開催した。このシンポジウムは、国際的に活躍できる若手研究者の育成および国際的に卓越した教育研究拠点の形成を図る重要な教育・研究プログラムとして、2009 年以降、半年に 1 度、定期的で開催しているものである。第 5 回目となる今回の国際シンポジウムでは、2011 年度に新たにスポーツ科学研究科博士課程に入学した大学院生を含め、65 名の博士課程大学院生が主体となりシンポジウムを開催した。

午前の部では、シンポジウム「Role of exercise in the prevention of obesity: does physiological compensatory response link behavioural compensatory response?」を開催した。はじめに早稲田大学グローバル COE プログラムの宮下政司研究院助教より各招待講演者の紹介と、肥満予防のためのエクササイズに関する研究についての紹介があっ

た。その後、3 名の招待講演者(Dr. Stensel(ラフバラ大学、イギリス), Dr. King(クイーンズランド工科大学、オーストラリア), Dr. Hagobian(カリフォルニア州立理工学大学、アメリカ)よりご講演を頂いた(写真 1)。全ての講演後 30 分間の総合討論を行い、多くの参加者が積極的に意見を交わし合う、素晴らしい討論の場となった。

午後の部では、早稲田大学スポーツ科学研究科博士課程の大学院生を対象とした、‘学生シンポジウム’を開催した。計 5 名のシンポジストによる発表および質疑応答が行われた。最後に、早稲田大学グローバル COE プログラム登録学生 65 名によるポスター発表が行われた。今回のシンポジウムでは、座長、会場設営、事前準備等は、全てグローバル COE プログラム登録学生が中心となってシンポジウムを開催した。研究だけではなく、学会やシンポジウムの運営することも、学生たちにとっては貴重な経験であると考えられる。



写真 1. シンポジストによる発表風景

## 1. シンポジウム

講演者および講演内容は以下のとおりであった  
(各々の発表内容は、別掲)。

### 【Symposium: Role of exercise in the prevention of obesity: does physiological compensatory response link behavioural compensatory response?】

Exercise and appetite regulation: appetite response to acute exercise

Dr. David Stensel

Loughborough University, UK

The interaction between exercise and appetite: hedonic and homeostatic compensatory responses

Dr. Neil King

Queensland University of technology, Australia

Exercise and hormonal regulation of appetite: sex differences and implications for body weight control

Dr. Todd Hagobian

California Polytechnic State University, USA

### 【Students Symposium】

Heart-capturing (Delight) scene in watching sport

Mr. Daichi Oshimi

Graduate School of Sport Sciences, Waseda University

The role of physical activity in the prevention of atherosclerotic cardiovascular disease in older adults

Mr. Jong-Hwan Park

Graduate School of Sport Sciences, Waseda University

Mitochondrial DNA and exercise performance

Miss Eri Mikami

Graduate School of Sport Sciences, Waseda University

Increased daily-activity alters thermal perception and behavioral thermoregulation in mice: exercise may induce neuropsychological adaptation to heat

Mr. Cheng-Hsien Lin

Graduate School of Sport Sciences, Waseda University

The kinematics of hand and fingers to determine the spin rate of baseball fastball

Mr. Tomoyuki Nagami

Graduate School of Sport Sciences, Waseda University

## 2. ポスター発表

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科のグローバル COE プログラム登録学生 65 名による、ポスター発表が実施された(各々の発表内容は、別掲)(写真 2)。



写真 2. ポスター発表での質疑応答

1 時間 45 分のポスター発表では、1 人 3 分間の英語によるプレゼンテーションを行い、その後自由討論の時間には活発な討論が行われた。ポスター発表終了後に行われた懇親会では、1 名の最優秀ポスター賞(城所収二:早稲田大学スポーツ科学研究科博士課程 1 年)と 4 名の優秀ポスター賞(三上恵里:早

稲田大学スポーツ科学研究科博士課程 2 年、朴鐘煥:早稲田大学スポーツ科学研究科博士課程 2 年、林政賢:早稲田大学スポーツ科学研究科博士課程 2 年、青山友子:早稲田大学スポーツ科学研究科博士課程 2 年)が発表され、拠点リーダーである彼末一之教授より表彰された(写真 3)。



写真 3. 受賞者、各指導教官、拠点リーダーの彼末一之教授を囲んで記念撮影

第 5 回国際シンポジウムは、今年度入学した博士課程 1 年次の学生にとっては初めての国際シンポジウムであった。彼らが、今回の英語でのポスター制作、

プレゼンテーションの経験を活かし、今後も他の国際学会等の参加を通して、国際的に活躍できる質の高い研究者になることを願う。



写真 4. 早稲田大学グローバル COE プログラム「アクティブ・ライフを創出するスポーツ科学」第 5 回国際シンポジウム終了後、招待講演者を囲んで記念撮影